

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野	倫理学
----	-----

I

- (1) 正義
- (2) 人間の学としての倫理学, 風土; 日本精神史研究など
- (3) ジャン=ポール・サルトル (サルトルだけでも可)
- (4) 九鬼周造
- (5) 実践理性批判
- (6) 道元
- (7) アリストテレス
- (8) 西田幾多郎

II

<出題の意図>

主に以下の点を確認するための出題である。

- ① 適切に課題を選択できているか。
- ② 自分の選んだ課題に関する知識をどの程度持っているか。
- ③ 倫理的な争点を理解し, 明確に説明できているか。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

倫理学

Ⅲ

(1)

解答例：ニックリンソン氏は「閉じ込め症候群」により、精神は健康なときと同じ能力を維持していたものの、身体については眼球と脛以外を動かす能力を失った。彼は人生の楽しみだと考えていたものをすべて失ってしまい、その状況を悲観して死にたがっていた。しかし、身体を動かさないので自殺できない。かといって、他人に自分を殺してもらおうとしても、殺人罪に問われることを恐れて誰も手助けしてくれない。こうして彼は自分が苦しみから解放されるために、死ぬ権利を求めて訴えた。

(2)

一つ目の問題

解答例：

- ・殺人が不正なのは、人間の生命に価値があるからである。
 - ・人間の生命に価値があるのは、人生では多くの重要な活動が行えるからである。
- この2つの命題を前提としたとき、そのような活動をもはや行う能力を失ってしまった人にも同じ「生命の価値」を認めることができるのだろうか。

二つ目の問題

解答例：人間は、自殺することも含めて、自分の生命を自分の好きなように扱ってもかまわないのだろうか。

(3)

解答例：安楽死を合法化すると、安楽死の条件を満たしていながらまだ生きていたい人々や高齢者に対しても、「人々の重荷にならないために安楽死しなければならない」というプレッシャーを与えることになる。

分野

中国思想文化学

問一

(一) 老子

(二) 有形の類は、大は必ず小より起こる。行久の物は、族は必ず少より起こる。故に曰く「天下の難事は必ず易より作こり、天下の大事は必ず細より作こる」と。是を以て物を制せんと欲する者は、其の細に於いてするなり。故に曰く「難を其の易に図り、大を其の細に為す」と。

(三) こういうわけで、白圭の周囲には水難が起こらず、丈人の周囲には火災が起こらない。これらはすべて易しいうちに慎重に行って大きな困難を回避し、小さいことを慎重に扱って重大な事態を引き起こさないでいるのである。

(四)

(1) 「以小知大（小を以て大を知る）」という概念が性格に把握できているか、また「以小知大」の思想的立場づけに対してどの程度論じることができるかを問う。

(2) 「以小知大」が『老子』の「明」とどのような関連を持つのか、またそれが漢代道家においてどのように展開するのかを的確に論じることができるかを問う。

問二

(一) 孟子の人物、『孟子』の思想内容などに言及すること。

(二) 鄭玄の人物や思想内容などに言及すること。

(三) 韓愈の人物、著作に見られる思想などに言及すること。

(四) 王陽明の人物、思想内容などに言及すること。

(五) 荻生徂徠の人物や著作、その思想内容などに言及すること。

分野名

日本史学

問一

(一)

預所：荘園現地で経営をおこなう上級荘官。

下地中分：荘園領主が紛争をきらって、荘園の土地を地頭と分け合って支配すること。

開発領主：地方の経済力豊かな有力農民で、国司などの干渉を排除するために、中央の有力な寺社・貴族に寄進した。

(解答例) 開発領主によって農耕地となった土地は、国衙からの干渉を排除するため公家や寺社に寄進される。そして現地には預所が派遣され荘園経営がおこなわれるが、地頭の影響力は強く、荘園領主側は所領を二つに分ける下地中分を実施し、地頭の影響力に制限を加えた。

開発領主：地方の経済力豊かな有力農民で、国司などの干渉を排除するために、中央の有力な寺社・貴族に寄進した。

(二)

慈照寺：足利義政が建立した京都東山山荘で、通称「銀閣寺」。東山文化の代表的建造物。

唐物：「からもの」。狭い意味では、中国渡来の品だが、朝鮮半島産も含めた貿易(輸入)品全般を指す。

わび：わびしい感覚。「枯淡」とも表現されるが、東山文化の特徴。

(解答例) 室町時代後期の日本文化は東山文化であり、代表的な建造物に足利義政が築いた慈照寺がある。美しく均整の取れた唐物を重視する北山文化に対し、国産の和物もあわせて用いられるなど、「わび」(わびしい感覚)を感じさせる。

(三)

地侍：「土豪」とも言われる郷村の有力農民で、戦国大名の軍事力の末端を形成した。

分国法：戦国大名が自身の領国を支配するために制定した法。

守護代：本来、守護を補佐する立場だが、守護在京のもと、領国支配の実務を担うことにより、戦国大名に成長することもあった。

(解答例) 地侍・土豪と呼ばれる人々は郷村の有力農民であり、戦国大名の軍事的基盤を下支えする存在であった。守護在京のもと戦国大名には、守護を補佐する守護代から成長して大名となった者もいる。また、大名の中には、領国を対象とする法令を制定する者も登場したが、それを分国法と言う。

四

①勘合(かんごう)：明の皇帝が周辺国の国王に下賜した渡航許可証。

②有徳人(うとくにん)：経済的に豊かな人。裕福な人。

③国衙目代(こくがもくだい)：地方行政機関の国衙に派遣された国司の代理人。

④起請文(きしょうもん)：契約を交わす際、それを破らないことを神仏に誓う文書。

分野名

日本史学

問二

(一) 石高制

(二) 「鎖国」体制下で徳川幕府は対外関係の取扱いの窓口を、中国・オランダを中心とする長崎、朝鮮に対する対馬、琉球に対する薩摩、アイヌに対する松前に限定していた。幕府はその内、長崎を直轄領として貿易の窓口、そして対外関係全般の管理統制の中心とし、他の三つの「口」での対外関係を、それぞれ対馬藩（宗氏）・松前藩（蠣崎氏／松前氏）、薩摩藩（島津氏）に管掌させた。こうして將軍・幕府の権力は朝鮮・琉球・アイヌなどの異民族・異国との対外関係はそれぞれの藩に管掌させ自己の統制下に置くとともに、長崎を対外関係取扱いの中心として設定し、直接自己の管理統制下に置いて、近世の対外関係全般を統括した。近世日本は「四つの口」という限られた「場」を通して、周辺の地域との交流や貿易関係を維持し、発展させた。

問三

(一) 安政五年の条約勅許問題は、西洋列強との通商条約締結が問題となるなか、天皇の許可を求めて老中堀田正睦が上京したが結局それは得られなかったことを説明する。慶応元年の条約勅許問題は、安政五年に得られなかった天皇の勅許を求めて西洋列強の艦隊が兵庫沖（摂海）に浸入して圧力をかけるなか、畿内に滞在していた幕臣と公家、諸藩もふくむかたちで綱引きが繰り広げられた結果、勅許が出されたことを説明する。

(二) ⑤

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野	東洋史学
----	------

問1

21世紀最初の10年間、中国は世界貿易機関(WTO)の一構成国となり、中国はグローバル(世界的規模)経済において活発な役割を果たすようになった。10年間で、すでに中国は新興グローバルパワーとなる過程で、国際政治・経済問題に対する大きなインパクトを有するようになった。その一方で、国際的ガバナンスにおけるその役割はなお限定的なものに留まっていた。このことは、外交問題を扱うにおいて、「韜光養晦」すなわち「目立たないように時を待ちながら、何かを達成する」という鄧小平の金言に反して中国が東アジアにおいて積極性を拡大させた際、内的・外的緊張を高めることにつながった。

問2

欧米列強の圧力を前にして、清朝の洋務派官僚は軍事力の強化によって危機を乗り切ろうとし、軍事産業の移植をめざした。また、軍事産業の経費を補填するため綿紡織業や製鉄業などの民需産業の発展を図り、中国における工業化の端緒を開いた。さらに、1900年代の光緒新政の下で工業投資の法的保障が進められ、また地方でも産業振興政策が推進されたため民営工場の設立数が清朝時代のピークに達した。

中華民国が成立すると、北京政府時代の袁世凱政権下で農商総長を務めた張謇が産業法規の制定や民間企業の保護・育成を進め工業化のための環境が整備された。そうした条件の下で第一次世界大戦により欧米商品の輸入が減少すると、綿紡織業や製粉業を中心に中国人資本(民族資本)による輸入代替工業化が進むこととなった。

1920年代に入ると大戦ブームは過ぎ去ったが、20年代後半から再び景気が回復し、南京国民政府の下で関税自主権が回収されると、綿紡織業・製粉業やゴム製品・琺瑯製品などの新興工業による輸入代替工業化がさらに進展し、輸出産業としての製糸業も発展していった。しかし、1930年代になると世界恐慌が中国にも波及し企業倒産が相次いだ。南京国民政府は経済再建に取り組み、35年末には米英両国の支援を受けて通貨制度改革(幣制改革)を断行し恐慌からの離脱に成功した。景気回復傾向のなかで製造業は再び発展しようとしたが、1937年の日中戦争の勃発によってその動きは停止を余儀なくされた。(文字数619字)

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野	東洋史学
----	------

問3

(1)

八旗とは清朝時代に主としてマンジュ(満洲)人が所属した軍事・社会組織で、300人の成人男子を兵士として供出できる単位をニル、5つのニルをジャラン、5つのジャランをグサとそれぞれ呼び、満洲人は8つのグサに編成された。グサはそれぞれ固有の旗によって区別されたため、これらを八旗と称した。駐防八旗とは、要地の警備、反乱の鎮圧、統制の強化のために各地に派遣・移住した八旗である。

(2)

儒教の経典「五経」の一つで、堯・舜から夏・殷・周を経て秦の穆公に至る帝王・天子・諸侯の訓戒・檄文など言行を集成した書物。『尚書』や『書』ともいう。

(3)

第二次大戦後、国民党によって制定・公布された憲法。大統領の下に議院内閣制がめざされたが、中国民主同盟と中国共産党の制憲作業からの離脱、国民党と共産党との内戦によって幅広く国民の支持を得ることができなかった。現在の台湾でも、この憲法は修正が施されながらも骨格を保ち台湾民主化を支えた。

(4)

1975年に中国共産党の周恩来が提唱した国家経済の発展計画で、農業・工業・国防・科学技術の四つの近代化(現代化)を目標として提唱したもの。1976年の文化大革命の終了後、この目標は鄧小平によって開始された改革・開放政策に引き継がれた。

(5)

1979年2月に起こった中国とベトナムとの国家間戦争。長く続いたベトナム戦争が1975年に終結したが、ベトナムが中国の支援するカンボジアのポルポト政権を武力で打倒したことから鄧小平が「懲罰」と称してベトナムに侵攻した。戦いはベトナムの反撃に苦慮して中国軍が撤退する形で終結し、中国は軍においても近代化(現代化)を図る必要に迫られることとなった。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

地理学

問Ⅰ

(1) このような集積は、ニューヨーク、ロンドン、東京など、グローバル経済の重要な司令塔や統制点を指す「世界都市」とは異なる。EMRsも世界経済のグローバリゼーションの産物だが、より具体的には、以前の都市化のタイプとは根本的に異なると主張される都市化と都市構造のパターンに関わっている。

(2) 基本的にEMRは、都市と地域の発展の融合を表す。都市が回廊に沿って拡大し、小さな町や村をバイパスしたり取り囲んだりすることで、都市と農村の区別が曖昧になる。その結果、その場所での機能や職業に変化が生じる。

(3) EMRのもうひとつの大きな特徴は、1つの中心業務地区ではなく、複数の核を持つ傾向があることである。主要な機能は、ビジネス、生産、観光、金融、娯楽などに専門化したセンターに分散している。

問Ⅱ

(1) 直線距離 5,925m (5.952km)

計算式 $23.7\text{cm} \times 25,000 = 592,500\text{cm} = 5,925\text{m}$ (5.952km)

(2) トンボロ (陸繋砂州)

峨嵋山はかつて島であった。峨嵋山と本州の間に砂が堆積して陸続きとなった。

(3) 工場群のある場所は、海岸の砂の高まりをならし、その沖の海を人工的に埋め立てて形成された場所と考えられる。工場群のある場所は標高数メートルの平坦な地形をなす。また、この付近の海岸は、比高の大きな護岸が巡らされている一方で、島田川右岸や工場の南東から室積までの海岸は砂浜となっている。さらに、島田川右岸と左岸で海岸線の位置が異なり、左岸は河口部にも関わらず、直線的な海岸線をなしている。したがって、元は島田川右岸から連続するような砂浜海岸であったが、陸地を平坦化し、沖に護岸を築いて土砂を搬入して形成された人工地形と考えられる。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野	地理学
----	-----

問Ⅲ

(1)

A 高 B 低 C 低 D 高
E 高 F 高 G 低 H 低

(2)

a カナダ

製材生産は、単一樹種が大量に得られる針葉樹の多い亜寒帯林が使われていると考えられる。挙げられた国のなかではカナダのみが該当する。

b インドネシア

パルプ用材は、亜寒帯林のみならず、ブラジルに見られるように熱帯林が使われている。寒帯に比べて樹木の成長サイクルが早いことが利点と考えられる。挙げられた国のなかで、熱帯林が広く分布しているのはインドネシアである。

c インド

薪炭材生産量は、発展途上国や新興国で多く、挙げられた国のなかではインドとインドネシアが考えられる。cは、薪炭材等生産量の第一位であり、挙げられた国のなかでは、人口が多く、人口増加も著しいインドが該当するものと考えられる。

(3)

・人工林

森林資源の確保や環境保護を目的として人工的な植林によって形成された森林のことを指す。スギ、ヒノキ、アカマツなど、比較的成長が早いものからなり、建築用や工業用に適した針葉樹林からなることが多い。天然林と区別して使われる。

・バイオマスエネルギー

生物を起源とする有機物から得られるエネルギーのことである。薪や木炭、間伐材などの木質バイオマスや、サトウキビやトウモロコシから工業的に作られるバイオエタノール、糞尿などの発酵によって得られるメタンなどがある。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

考古学

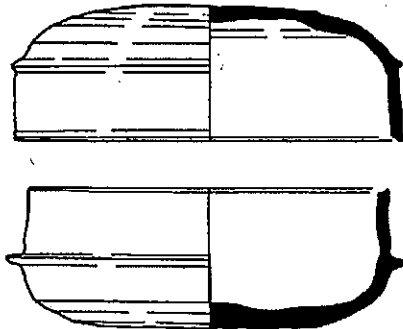
問Ⅰ【解答例】その後の紀元後1世紀からとなる弥生時代後期には、劇的な変化がみられた。伝統的な地域社会の中枢を形成していた大きな中心村落の多くは消滅し、伝統的な地域社会の墓地の多くも使用されなくなった。この大きな理由は、地域社会のリーダー達とメンバーとの間の不平等が増大したことに起因する。リーダー達はもはや同じ村落に住まなくなり、他のメンバーと同じ墓域にも埋葬されなくなった。紀元後2世紀になると、長さ数十メートルの墳丘墓が列島各地に出現し、地域社会のリーダー達がエリート層として成長したことを示している。だがしかし、これらの墳丘墓はまだ「古墳」とはみなされない。

これらの首長達の権力がこのように増大したおもな理由のひとつは、長距離交易を管理する能力であった。近隣村落から必要な資源が入手できた弥生時代中期とは大きく異なり、弥生時代後期には鉄や鉄器の需要が大幅に増加した。弥生時代後期に石器は鉄の同等品により次第に捨て去られ、鉄は日常生活に不可欠なものとなった。鉄鉱石は日本にも存在したが、当時の技術的な限界により使用できなかった。したがって、弥生時代の人々は増加する鉄の需要を満たすために、中国や朝鮮半島との交流に頼らざるを得なかったが、それは地域社会のメンバーによってではなく、各地域のエリート達の間で維持されたネットワークによって支えられた。中国および朝鮮半島との長距離交易の管理に成功したことで、これらの首長達は自分達の地域社会内だけでなく、日本列島の他の首長達よりも高い地位を確保することができたのである。

問Ⅱ(1)【解答例】古墳時代の土器には土師器と須恵器がある。土師器は弥生時代以来の土器製作技術をもとに生産された。野焼き焼成されたため、赤褐色から茶褐色の色調となる、やや軟質の土器である。甕や高坏のほかかめ たかつきに小型の精製器種などがある。甕は煮炊きに、高坏は食器として使用された。

これに対して須恵器は4世紀末から5世紀初頭ごろに朝鮮半島から伝えられたあながま竈窯焼成技術によって生産された。1100℃以上の高温で焼成され、た焚き口からの酸素の供給を遮断することで青灰色から灰色の色調となった。土師器よりも緻密な胎土をもつ硬質の土器である。貯蔵用の甕や壺、供膳用の蓋坏、高坏、はそ臙、脚付壺などの他、特殊な装飾をもつ大型器台や大型壺なども作られた。大阪府陶邑窯跡群が古墳時代の須恵器の最大の生産地である。

(2)【解答例】下図参照。



令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

考古学

問Ⅲ【解答例】

椿井大塚山古墳（つばいおおつかやまこふん）

京都府木津川市山城町にある、墳丘全長約175メートルとなる前方後円墳である。旧国鉄奈良線の工事の際、後円部に長大な竪穴式石室が発見され、30面を超える三角縁神獸鏡などが出土した。三角縁神獸鏡を大量に保有していたことから、この古墳の被葬者が日本列島各地に三角縁神獸鏡を配布した可能性が指摘された。この他、鉄製冑、鉄刀剣、鉄鏃、銅鏃、鉄製農工具、鉄製漁具などが出土した。銅鐸（どうたく）

弥生時代、おもに近畿地方を中心に製作された釣鐘型の青銅器である。中空の鐸身と釣り下げる鈕とからなる。最古段階の銅鐸は鈕の断面形が菱形で機能的である（菱環鈕式）。その後、外縁付鈕式、扁平鈕式、突線鈕式と変遷する。銅鐸は鈕の形態が装飾的に変化するとともに、銅鐸全体が大型化して、釣り下げて鳴らす楽器から据えつける祭器に変化したとみられている。

轡（くつわ）

馬の口にくわえさせて馬を制御するのに用いる金属製の馬具である。馬の口内に入る部分を銜、銜の両端につけて轡を面繫につなぐ部分を鏡板、銜の両端に組み合わせて手綱を結びとめる棒状の部分を引手という。

平板測量（へいばんそくりょう）

平板に貼り付けた図紙に、基準点からの測量結果を縮尺して書き込み、地形図を作成していく測量方法である。平板および平板脚、求心器、アリダード、磁針、巻尺、ポールなどの器具一式を使用する。

粘土槨（ねんどかく）

古墳時代前期から中期の古墳にみられる埋葬施設のひとつである。古墳墳丘上にある墓壙の棺床に粘土を敷いた後、木棺を埋置し、再び粘土で覆って埋め戻した。竪穴式石室を簡略化した埋葬施設とも推測されている。

放射性炭素年代測定法（ほうしゃせいたんそねんだいそくていほう）

炭素の放射性同位体、 ^{14}C の性質を利用して炭素を含む物質の年代測定を行う方法である。1940年代にシカゴ大学のウィラード・リビーらによって研究開発された。放射性炭素年代測定法の発展は考古学に多大な影響を与えた。

若草伽藍（わかくさがらん）

奈良県法隆寺境内、現在の西院伽藍の南東にあった飛鳥時代の寺院跡である。昭和14年に発掘調査が行われ、金堂と塔が確認された。この若草伽藍が創建時の法隆寺である可能性が高くなり、再建・非再建論争に結論が出された。

青谷上寺地遺跡（あおやかみじちいせき）

鳥取市青谷町にある日本海に面した集落遺跡である。弥生時代前期末から古墳時代前期にかけて営まれた。発掘調査によって中国大陸や朝鮮半島で製作された金属製品や、鉄製工具、容器や農具などの木製品、漁撈に使用された骨角製品、人骨など膨大な遺物が出土した。多くの遺物は良好な状態で遺存しており、近年、国の重要文化財に指定された。

帝釈峡遺跡群（たいしゃくきょういせきぐん）

広島県北東部、庄原市から神石高原町にまたがる石灰岩洞窟や岩陰を利用した縄文時代の遺跡群である。帝釈馬渡岩陰遺跡、帝釈寄倉岩陰遺跡、帝釈観音堂洞窟遺跡などで構成される。縄文時代全般に

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

考古学

わたり、土器や石器などの遺物が層位的に堆積していた。また、動物骨など有機質の遺存状態が良好であったため、縄文時代の人々の食生活などを知ることができる。

モンテリウス（もんてりうす）

スウェーデンの考古学者である。ヨーロッパの青銅器文化の編年の確立に尽力した。とくに型式学的研究法の提唱はその後の考古学研究に大きな影響を与えた。モンテリウスは型式の組列を、痕跡器官の確認、一括遺物の検討、遺跡における層位の確認といった方法で検証することによって、相対年代の構築を目指した。

分野

日本文学語学

第一問

日本語学の基本的な術語について正確に理解できているかを問う設問である。音韻・表記・文法・語彙の各分野から出題した。適切な事例を用いた説明があれば正解とする。

第二問

(一) 虫めづる姫君

(二) 堤中納言物語

(三) 十編の短編物語と一つの断章から成る短編物語集であること、おおむね平安時代の成立と見られるが、必ずしも全作品が平安時代に成ったものとは言えないこと、一つにまとめられた時期や編者、総題号の由来は不明であること等の基本的事項を押さえた上で、内容の多彩さ、長編物語との相違を具体的に記すことを期待する。

第三問

近世前期に大いに評価され、盛んに享受された中世の文学者としては、まず西行、そして兼好法師、宗祇などが挙げられる。いずれも隠遁生活の中から作品を生み出し、それが隠逸思想の流行した近世前期に愛好されたと考えられる。近世文学史上に中世の文学がどのように位置づけられるかということを、知識として有しているか否かを問う設問である。

分野

日本文学語学

第四問

- (一) 作品名(「興津弥五右衛門の遺書」) 作者名(森鷗外)
- (二) 乃木希典・静子夫妻の明治天皇崩御に伴う殉死
- (三) 陸軍省に所属する軍医でありながら、和漢洋にわたる幅広い学識を踏まえて、西洋近代文学及び理論を移入した、日本近代を代表する作家である。ロマンチズム、反自然主義文学の立場に基づき、小説・翻訳・戯曲・詩歌・随想・評論と同時代及び後世に大きな影響を与える、多面的で膨大な創作活動を行った。さらに晩年には歴史小説・史伝へ展開するという独自の軌跡を遺した。

明治一七年から三一年にかけてドイツへ留学し、帰国後、訳詩集『於母影』、初期三部作「舞姫」「うたかたの記」「文づかひ」を発表した。あわせて『しがらみ草紙』を主要な舞台とする啓蒙的評論活動も行う。流麗典雅な叙情性を持つ『於母影』はその後の日本近代詩の展開の方向を決定づけ、初期三部作は日本近代における封建性と自我との対立というモチーフをいち早く追究したものであった。日清戦争から帰還後、『めざまし草』を創刊し、幸田露伴・斎藤緑雨との合評「三人冗語」などの評論活動を行う。さらにアンデルセンの翻訳『即興詩人』を完成させ、後続の文学者に大きな影響を与えた。日露戦争からの帰還後には、自然主義の隆盛や夏目漱石の登場に刺激を受けて、『スバル』を中心に再び創作活動を開始し、「半日」「青年」「雁」「かのやうに」など反自然主義と位置づけられる作品を数多く発表した。これらの創作活動の根源にあるのは、近代西洋的個人主義と封建的道德との調和の模索である。しかし、明治天皇崩御に伴う乃木夫妻殉死から受けた衝撃を契機として、武士道精神のうちに近代の功利主義を否定、或いは相対化するモチーフを主として展開することになる。その端緒となった作品が「興津弥五右衛門の遺書」である。この作品以後、鷗外は「阿部一族」「高瀬舟」など歴史小説に転じる。さらに陸軍省退官前後には、「渋江抽斎」「伊沢蘭軒」などの史伝物と呼ばれる作品に転じ、厳密な考証と克明な記述に基づく理想的人物像の記録と追究が行われた。

分野

日本文学語学

第五問

(一) 基本的な文学史的知識を確認する設問である。

(A) 昭和二八〜三〇年ごろに芥川賞を受賞した一群の作家たち。先行する戦後派と比較しつつ文学の特質や、代表的な作家、作品について、概括すること。

(B) 大正末から昭和(戦後)期に活躍した探偵小説作家。雑誌『新青年』への執筆や、代表作品、推理小説に関する評論活動等について、概括すること。

(二) 短詩の表現や内容に関する読解力を確認する設問である。

① 「心象スケッチ」であること ② 「賢治は生涯にわたり岩手山に数十回登っていること」(↓愛着のある山であること) ③ 「視線の方向にも着目しながら」といった設問文を手がかりに、詩を分析してほしい。

下から山を見上げる前半の二行と空中から山を見下ろす後半の二行が対照的に描かれていること、「散乱反射」「微塵」といった科学的な用語の使用の効果、「古ぼけて黒く」「きたなくしろく」といった表現から岩手山と書き手との関係をどのように読み取ることができるか、などの点から考察することを期待する。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野	英米文学語学
----	--------

I

著作権保護の観点から、公開しておりません。

(出典：C.S. ルイス著，本田錦一郎[等]共訳，『語の研究』，文理，1974年，364-65頁，一部改変。)

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

英米文学語学

II

作品名：*Hamlet*

作者名：William Shakespeare

作品の概要：

デンマークの王子ハムレットが、父である王を毒殺して王位に就き母ガートルードを妃とした叔父クローディアスを仇討ちにした後、自らも命を落とす悲劇である。ハムレットが求愛していたオフィーリアの父、王室長官のポローニウスは、ハムレットが狂ったのは自分の娘に失恋したためだとクローディアスに言う。ハムレットはクローディアスの罪を確かめるため、亡き父の亡霊にきいた毒殺の場面を劇にして上演すると、クローディアスは毒殺のところで劇の中止を命じる。その後クローディアスが祈っているところを殺そうとするが、それで彼が天国に行っては復讐にならないと考えてやめる。そのあとで、ハムレットは母に父の偉大さを説いて、クローディアスと寝るなどと言って責めたてるが、その際盗み聞きしている者をクローディアスだと思って刺し殺すと、それはポローニウスだった。クローディアスはハムレットをイギリスに送り、そこで殺されるようにしようとするが、ハムレットは途上で海賊につかまるなどした後に、デンマークに帰ってくる。オフィーリアは嘆きのあまり狂って水死してしまっており、その兄のレアティーズはハムレットに復讐しようとしている。クローディアスはレアティーズと共謀して、ハムレットとレアティーズでフェンシングの試合をして、毒を塗った剣を使ってハムレットを殺そうとする。また毒入りのワインも用意しているが、ガートルードがそれを飲んでしまい、レアティーズは自分の毒塗の剣で傷を負ってから、クローディアスの計画をハムレットに言い、ハムレットはクローディアスを毒を塗った剣で刺し、さらに毒入りのワインを飲ませ、全員死ぬ。

作品名：*Pamela, or Virtue Rewarded*

作者名：Samuel Richardson

作品の概要：

貴族の親戚の一家に仕える召使パミラ・アンドリュースが、自分の身の上に降りかかる事件について、両親に手紙を送る形式で話がすすむ書簡体小説である。仕えていた年老いた女主人が死んで、息子のミスター・Bが当主になり、パミラは乞われ奉仕を続けることになる。ところが、その当主はパミラに下心があり、執拗に迫る。パメラはそれを断固としてはねのけて、親元に帰ろうとするが、ミスター・Bはパミラに両親への手紙を禁じ、彼女を別宅に幽閉する。パミラは両親に手紙を書くことができないので、以降は日記形式に変わる。パミラは、あらゆる苦難に耐え貞操を守り通すことに成功する。最終的にミスター・Bに求婚されるがこれを断り、後になって自分のミスター・Bへの思いに気づき、再度の求婚を受け入れる。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

英米文学語学

作品名：*Pride and Prejudice*

作者名：Jane Austen

作品の概要：

小地主ベネット家に五人の娘がいて、上からジェイン、エリザベス、メアリー、キティ、リディアであるが、近くにビングリーという若い金持ちが引っ越してきて、近所で開かれた舞踏会でジェインに関心を持ち、ジェインが招かれてビングリー家に行った際に風邪をひき、そのままそこに泊まることになり、ふたりは親密になっていく。ビングリーは親友のダーシーを家に招いているが、社交的でないので、エリザベスは嫌な感じだと思っているが、やがてダーシーはエリザベスを好きになる。しかしビングリー家での舞踏会でのベネット家の振る舞いがいかにも小地主らしく俗悪だと考えて、ダーシーはビングリーにジェインから離れるべきだといい、ビングリーはロンドンに戻る。この間、エリザベスはベネット家の屋敷を相続することになっている牧師のコリンズの求婚を断り、ダーシーの父親に目をかけられていたが、ダーシーに意地悪をされて追い出されたという士官のウィッカムに惹かれている。その後、エリザベスはコリンズと結婚した近所の貧乏貴族の娘シャーロットを訪れるが、コリンズがおつきの牧師をしている貴族の女主人がじつはダーシーの伯母で、そこでダーシーと出会う。ダーシーはエリザベスにプロポーズするが、エリザベスはジェインの件とウィッカムの件でダーシーをよくない人だと思っているので、断る。ダーシーは手紙でその両方について釈明する。その後ウィッカムがリディアと駆け落ちし、ダーシーがふたりをロンドンでさがしあてて、きちんと結婚させるなどし、またダーシーのすすめでビングリーが村に戻ってきてジェインに求婚する。ダーシーはエリザベスにふたたび求婚して、受け入れられる。

作品名：*David Copperfield*

作者名：Charles Dickens

作品の概要：

主人公デイヴィッド・コパフィールドは父が死んだ直後に生まれ、弱気な母親はマードストーンという男と再婚し、彼とその妹にいじめられる。デイヴィッドは寄宿学校に入れられ、ステアフォースやトラドルズという友達を作る。その後母親が病気で死ぬと、デイヴィッドはロンドンの工場で働かされ、下宿が一緒になった破産者のミコーバー氏の一家と親しくなる。デイヴィッドはそこから逃げ出して、ドーバーにいる大伯母ベッツィ・トロットウッドのもとに身を寄せる。そこからカンタベリーの学校に入れられ、大伯母友人であり法律家であるウィックフィールド氏の家に住む。そこにはアグネスという娘がいる。その後スペンロー氏のロンドンにある法律事務所で働くことになる。またステアフォースと再会し、彼を召使だったペゴティのヤーマスの漁村にある実家につれていく。そこには兄のペゴティ氏、甥のハム、そのいとこのエミリー、ガミッジ夫人などがいる。ステアフォースはエミリーと駆け落ちしてしまい、ペゴティ氏は彼女を探しに全国をまわり、最終的にロンドンで売春婦になっている彼女を見つける。ステアフォースはやがて、船がヤーマス沖で難破して溺れ、それを助けようとしたハムも死ぬ。他方で、デイヴィッドはスペンロー氏の娘ドーラと結婚し、作家として有名になる。ドーラは数年後病気で死ぬ。その間ウィックフィールド氏の事務所は事務員のユライア・ヒープにのっとられており、彼はアグネスと結婚しようとしてたくらんでいる。しかしそこで働いていたミコーバー氏と、弁護士になったトラドルズが、ユライアの偽造と横領を告発し、彼は終身刑になる。デイヴィッドはアグネスと再婚し、ペゴティ氏、エミリー、ミコーバー氏はオーストラリアに移住する。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

英米文学語学

作品名 : *Tess of the d'Urbervilles*

作者名 : Thomas Hardy

作品の概要 :

テスは行商人のジョン・ダービーフィールドの娘だが、父は教区牧師から、自分の家が古い貴族であるダーバヴィル家の直系であることを聞き、テスを近くのダーバヴィルという地主の家に行かせ、テスはそこで召使になる。テスは当主の息子のアレックに誘惑され、妊娠して家に戻るが生まれた子は間もなく死ぬ。その後乳搾りとして働きに出て、そこで牧師の息子で農場経営者をめざすエンジェル・クレアに出会い、結婚するが、初夜に過去を告白するとエンジェルはそれを許すことができず、彼女を置いてブラジルに去る。テスは実家に戻って夫を待っているが、父が死んで家族は路頭に迷ってしまい、テスは家族のためにアレックの愛人になる。テスはエンジェルが返ってきたことを知りアレックを殺してしまい、エンジェルと再会して一緒に逃げるが、捕まって処刑される。

作品名 : *Mrs. Dalloway*

作者名 : Virginia Woolf

作品の概要 :

第一次大戦後の1923年6月の一日の話。国会議員リチャード・ダロウェイの妻であるクラリッサ・ダロウェイは、その夜のパーティーのために花を買いに出かける。その間、若いころの友人でインドに渡ったピーター・ウォルシュというひとのことや、娘のエリザベスのことや、若いころの親友のサリーや、ランチ・パーティーに招かれている夫のことを考える。帰ってくると、ピーターがきていて、まだクラリッサに未練があり、夫と幸せかなどというが、エリザベスが入ってきたところでダロウェイ家を出て、リージェンツ・パークに行く。そこでセプティマスという帰還兵に視点に移る。彼は文学青年で一次大戦に志願したが、戦争神経症になっており、精神科医のサー・ウィリアム・ブラッドショーは彼を措置入院させようとしている。クラリッサは友人と昼食を食べたあと、家に帰ってきて、夫がバラの花束を持って帰って来る。他方でセプティマスは自宅に医師が迎えにきたさいに、窓から飛び降りて自殺する。パーティーがはじまり、そこにはピーターやサリーも来ている。あとからやってきたサー・ウィリアムが、彼の患者（セプティマス）が自殺したというのを聞いて、クラリッサは精神的に動揺するが、窓の外を見ると、向かいの部屋で老婦人が独り寝るところで、なにか心慰められて、パーティーへと戻る。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

英米文学語学

III

作品名：*Absalom, Absalom!*

作者名：William Faulkner

作品が書かれた時代と作家の特徴：

作者 William Faulkner は、1936年に本作品を発表した。1865年の南北戦争での南部敗北によって黒人奴隷制度は廃止されたが、Faulkner が本作品を執筆した時代は、まだ黒人差別が根強く残っていた。Faulkner は、南部の人種差別を問題視し、南部の白人、特に南部の特権階級の人々を批判的に描いた。

作品名：*Adventures of Huckleberry Finn*

作者名：Mark Twain

作品が書かれた時代と作家の特徴：

作者 Mark Twain は、1885年に本作品を発表した。旧南部、すなわち南北戦争前の南部を舞台にした作品であるが、黒人奴隷制度の問題を取り上げた。アメリカならではの方言や俗語を多用する Huckleberry Finn の一人称の語りによる *Adventures of Huckleberry Finn* は現代アメリカ文学の原型と言われている。

作品名：“The Black Cat”

作者名：Edgar Allan Poe

作品が書かれた時代と作家の特徴：

作者 Edgar Allan Poe は、1843年に本作品を発表した。Poe は、19世紀半ばのアメリカン・ルネサンスを代表する作家の一人であり、本作品や“The Fall of the House of Usher”のような怪奇小説，“The Murders in the Rue Morgue”のような推理小説，“The Raven”のような詩といった多様な文学ジャンルの大家だった。

作品名：*The Color Purple*

作者名：Alice Walker

作品が書かれた時代と作家の特徴：

作者 Alice Walker は、1982年に本作品を発表した。1964年の公民権法の成立によって法律上での人種差別が終わった後も黒人の中で男女差別があることを常々 Walker は問題視していた。Walker は、黒人男性による黒人女性への差別や暴力を描き、黒人文学において、抗議の相手を白人から黒人男性に変えた。

作品名：*Leaves of Grass*

作者名：Walt Whitman

作品が書かれた時代と作家の特徴：

作者 Walt Whitman は、1855年に本作品を発表した。ジャクソニアン・デモクラシーの気運に乗り民主主義に目覚めた Whitman は、本作品でデモクラシーを詩によって実現しようと試み、詩形、主題、語彙のすべてにわたって自由や平等を表現した。伝統的な韻律や詩形を用いない彼の詩は自由詩と呼ばれた。

分野

英米文学語学

作品名 : *Lolita*

作者名 : Vladimir Nabokov

作品が書かれた時代と作家の特徴 :

作者 Vladimir Nabokov は、1950年に本作品を発表した。本作品は、中年の男性が少女に寄せる異常性愛という点から出版当初は猥褻本の扱いを受けていたが、今日では、パロディ、引喩、隠喩に満ちた非常に実験的な文学作品とみなされており、Nabokov は、時代的にもポストモダニズム文学の先駆的作家といえる。

作品名 : *The Scarlet Letter*

作者名 : Nathaniel Hawthorne

作品が書かれた時代と作家の特徴 :

作者 Nathaniel Hawthorne は、1850年に本作品を発表した。本作品を筆頭とする Hawthorne の作品の大きな特徴は、アメリカが近代化に向かう南北戦争前の時代において、ピューリタンの原罪というアメリカの起源にまで遡る意識と 19 世紀の社会改革思想などの新しい価値観が混交している点にあるといえる。

作品名 : *A Streetcar Named Desire*

作者名 : Tennessee Williams

作品が書かれた時代と作家の特徴 :

作者 Tennessee Williams は、1947年に本作品を発表した。本作品を筆頭とする、南部生まれの Williams の多くの作品のテーマは、南北戦争での敗北による南部人の精神の荒廃である。Williams は、南部白人が、現実の生活は下降線をたどっているにもかかわらず自尊心や過去の記憶にとらわれたままのさまを描いた。

作品名 : *The Sun Also Rises*

作者名 : Ernest Hemingway

作品が書かれた時代と作家の特徴 :

作者 Ernest Hemingway は、1926年に本作品を発表した。Hemingway は、第一次世界大戦後のロス・ジェネレーションを代表する作家であり、彼の無駄を排した力強い文体、情緒を抑制するような文体は、戦争などがもたらす死や虚無と対峙するための禁欲主義を示そうとする彼の主要作品のテーマと連動している。

作品名 : *The Wings of the Dove*

作者名 : Henry James

作品が書かれた時代と作家の特徴 :

作者 Henry James は、1902年に本作品を発表した。本作品においてもそうだが、James は、かつてイギリスの植民地だったアメリカが資本主義的近代化によりヨーロッパと肩を並べる大国になったことを背景に、アメリカとヨーロッパの文化の衝突を男女の恋愛に重ねて描いた。その際、リアリズムの技法を確立するに至った。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

英米文学語学

IV

- (1) 下線部は「勧告する」という意味の recommend の被伝達部にあり、仮定法現在となっている。現在では、この用法はアメリカ英語に残り、イギリス英語においては should を加えて should remain とすることが多い。
- (2) 接触節と呼ばれる構造で、wants 以下の節が接続の語なしで There's ... at the door の節に結びついている。関係詞の点から見ると、主格の関係代名詞のないこの構造は、現代英語では例文にあるように、There is 構文などに限定的に現れる。
- (3) To と不定詞が副詞 silently によって分離されている、いわゆる分離不定詞である。この用法は、副詞が主節動詞ではなく不定詞 accompany を修飾することを明示する目的で許される。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野	英米文学語学
----	--------

v

著作権保護の観点から、公開しておりません。

(出典 :W. Somerset Maugham, *Ten Novels and Their Authors*. London: Pan Books, 1978, p. 7, 一部改変。)

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題意図

分野

ドイツ文学語学

問 I

(1) [A] im [B] um

(2) 具体例の提示

(3)

(1) 数年前まで私はポッドキャストが何なのか知らなかった。

(2) ポッドキャストは、定期的にウェブサイト、アプリ、ストリーミングサービスを通じて提供されるオーディオ番組である。

(3) しかしどうやら多くの方は低い声に耳を傾けるのを好んでいる。

(4) (B)

問 II

問 1 それらは見て美しいだけでなく、日独友好の象徴でもある。

問 2 日本では桜の木は、人間と自然との結びつきの象徴として考えられている。

問 3 日本では人間が自然と一体化し、伝統的にうたげを催して桜を愛でてきたのに対して、ドイツでは桜の木を見て、歴史的出来事を回顧することが多い。

問 4 日本人は再統一を祝してドイツ人に桜の木を贈った。

問 5 1945年8月6日原子爆弾によって広島で亡くなった11万の人々を思い出すために、110本の桜が植えられている。

問 6 正解

a) ○

b) ×

c) ×

d) ○

問 III 各項目の重要な基礎知識である、作品の内容、作者についての情報、成立年代、人物の伝記、主要作品等について説明し、4文から5文程度でまとめてあること。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題意図

問IV 評価については以下の点を基準とし、総合的に評価する。

- (1) 論点が面白いか
- (2) 文法書などの記述を踏まえつつ、当該の言語現象を正しく理解しているか
- (3) 論理展開に矛盾はないか
- (4) 文章表現に問題はないか

問V 作文の表現力、文法的知識、語彙力を評価する。

(解答例)

Am Wochenende habe ich für die Prüfung gearbeitet.

Weil (Da) es am Samstag sehr heiß war, bin ich in die Bibliothek gegangen.

Ich musste ein Referat schreiben. Ich habe drei Bücher gelesen.

Am Abend habe ich mit meinem Freund (mit meiner Freundin) die Feuerwerke angeschaut und wir haben zusammen zu Abend gegessen.

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

フランス文学語学

I 次の全文を日本語に訳せ。

出題の意図：

仏検4級程度の語彙と文法知識を使って書かれた物語を読解する能力を評価する。

II 指示に従って、全文を書きかえよ。

出題の意図：

仏検4級程度の文法知識の習得度を評価する。

III これまで読んだ本のなかから最も印象に残っている1冊を選び、フランス語で紹介せよ。

出題の意図：

仏検4級程度の語彙を使い、選んだ本について、フランス語で明快に説明する能力を評価する。

IV 次のフランス文学に関する事項の中から五つ選択し、解答欄の()内に選択した事項の番号を記入のうえ、日本語で簡潔に説明せよ。

出題の意図：

- ・フランス文学に関する基本的な知識の習得度を評価する。
- ・学んだ知識を明快に説明する能力を評価する。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

言語学

〔I〕

- ① 言語の本来の性質に近づくため、この驚くべき正確な言語伝達を保障する言語の根底にあるものについて考えてみよう。
- ② 一見すると、これは難しい哲学的な問題であるように思われるかもしれないが、実際には、その答えはかなり単純なものである。
- ③ 人間言語は、高度に精巧で洗練された体系を持ち、それは「文法」と呼ばれる。
- ④ この体系により、それがどれだけ複雑であろうとも、言語的表現の形式の中で我々の思考や見解を表現することができる。
- ⑤ ここで言う「文法」という用語は、表現（または文）が語結合によってどの様に構築されているか統制する規則のことを指す。
- ⑥ ある個別言語を用いて複雑な思考をやりとりするためには、我々は正しい方法で言語の規則を知っておく必要がある。
- ⑦ 大切なことは、そのコミュニティにいるすべての一人一人のメンバーが言語の規則について同じ知識を正確に共有する必要があるということである。
- ⑧ そうでなければ、我々は（正確に）その言語を使う人たち同士とコミュニケーションを取れるなどと決して期待できないであろう。
- ⑨ 続く議論の中で、私たちは人間言語の文法、即ち「言語の知識」についての仮説を述べるつもりである。
- ⑩ しかしながら、その試みを行う前に、「文法」という用語が様々な異なる方法で使用されるため、「文法」によって意味されることについてもう少し正確にしておく必要がある。
- ⑪ 「文法」という用語は、言語的知識だけでなく、コンピューターを動かすのに必要な運用システム（またはプログラム）、即ち「人工言語」というものに言及するのに使われることがある。
- ⑫ 言うまでもなく、少なくともこの本の目的は、「文法」という用語は、人工言語ではなく、我々の脳と結びついた「自然言語」（または人間言語）の規則体系について言及することにある。

〔II〕

- 応用言語学 (applied linguistics) の説明
 - ・言語学の知見を活用しながら、現実の社会の様々な言語に関する課題に対応していく学問。
 - ・言語学の知見を実務者（特に言語教師）に伝え、活用していくことを主眼にしているため、応用言語学で研究される分野としては言語教育や第二言語習得などが主流。
 - ・近年では、バイリンガリズム、言語政策、言語とテクノロジー、言語とジェンダー、脳科学など様々な分野を含む。
 - ・心理学、社会学、人類学等の他の分野の知見も必要であり、学際的な学問。
- 一般言語学 (general linguistics) の説明
 - ・研究対象を特定の言語に限定せず、人類の言語一般に潜む諸性質、法則などの発見を目的とする言語学。
 - ・言語一般を対象とし、そこに共通してみられる普遍的な事象を扱う学問。
 - ・理論言語学。
 - ・国語学や英語学など、特定言語の学問と対をなす。
- このような観点から相違点を論述すること。

令和6年度広島大学文学部編入学試験 解答例又は出題の意図等

分野

言語学

[III]

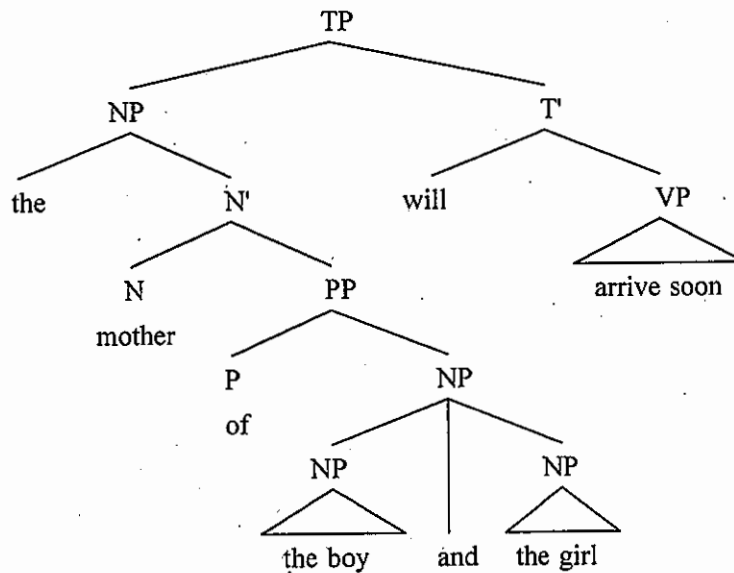
“The mother of the boy and the girl will arrive soon.”という文は、

a) The mother (of the boy and the girl) will arrive soon.

b) (The mother of the boy) and the girl will arrive soon.

というように、等位接続詞 and が何と何を結びつけているかという点において二種類の解釈ができる。これは統語構造上、下記のような違いに因るものである。

a)



b)

